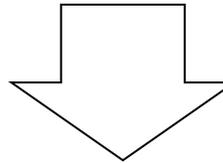


これまでいただいたご意見等への対応と今後の取り組み

各種説明会、相談窓口や個別ヒアリング等において、地域の方々から様々なご意見

<主なご意見>

- 早く詳細な計画内容を知りたい（図面では分からない）
- 道路の横断距離が長くなり危険
- 道路拡幅により南北が分断される
- 安全に通行できる歩行空間を整備してほしい 等



出来るかぎりの対応を検討

- 安全及びコミュニティ等の観点から道路機能の配置をケース別（ケース1～3）に整理検討
- 電線の地中化、取付町道の一体整備や環境影響調査等の取り組み

今 後

- 検討案を公開し、より多くの方々のご意見等をお聞きするなどし、地域にふさわしい“道路空間づくり”に繋げていく。
- “道路空間づくり”においては、「熊本大学ましきラボ」*からも提言・提案を受け、住民の意見をより具体化していく。

※ 熊本大学では、熊本地震からの復興を支援する「熊本復興支援プロジェクト」を平成28年6月に立ち上げ、その中の「震災復興デザインプロジェクト」で、益城町にサテライトラボを設置し、復興の現場で大学の専門家や学生が住民と対話しながら、地域の将来像を描く支援を行っている。